

ファンダメンタルズ分析講座

バーニャ マーケット フォーカスト

代表 水上 紀行

<http://www.banya-mktforecast.jp/>

話の流れ

- ファンダメンタルズ相場とは
- トレーダーは、エコノミストの分析とは違う
- 相場のストーリーを考える
- ケーススタディー

ファンダメンタルズとは

- 経済の基礎的条件

経済成長率、物価上昇率、財政収支などから、
国や地域の経済状態などを表す指標のこと

ファンダメンタルズをもとに株価や為替の値動きを予測することをファンダメンタルズ分析という

今、どんなファンダ.に反応？①

- 経済指標

米雇用統計が、恒常的にダントツ

他の各国指標は、場合によって

米ISM製造業景況指数

米小売売上高

ニューヨーク連銀製造業景況指数

独ZEW景況感指数

中国製造業PMI etc.

今、どんなファンダ.に反応？②

- イベント

- 金融政策決定会合

FRB、ECB、BOJ、BOE、RBA、RBNZ、PBOC等

特に、最近BOJの結果に対して過剰反応傾向

- 国際会議

G20(20力国・地域、財務相・中銀総裁会議)、

EU首脳会議、IMF・世銀総会等

今、どんなファンダ.に反応？③

- 要人発言

中央銀行総裁発言

財務相発言

大統領・首相発言

典型例

ドラギECB総裁

「ユーロ圏を守るために、何でもする用意がある。信じてほしい。」 2012/07/26

トレーダーは、エコノミストの分析とは違う

- エコノミストの分析とは？
- 最新データを、過去のデータと比較して、現状を評価し、さらに将来を予測する
- 非常に、学究肌

トレーダーの分析とは

- ある指標に対するマーケットの大勢の見方と実際のマーケットのポジション状況を読む
- 大事なことは、マーケットはなにを期待し、どうなると失望するかを推理する
- また、相場のテーマ自体の鮮度に注目

相場のテーマとは

- たとえば、金融緩和だったり、ドル安であったり、マーケットがその時々で注目している**題材**がある
- そうした注目している題材を、相場のテーマと呼ぶ
- この相場のテーマに向けてマーケットは攻防する

相場のテーマの鮮度を知る

- フレッシュかステール(古い)かは、大変重要
- 相場のテーマがフレッシュであれば、結果に対する反応も素直
- しかし、相場のテーマがステールだと、結果に対する反応は素直でなく、逆行することもある

相場のストーリーを考える

- トレーダーがファンダメンタルズ分析に限らず
たとえば、単に経済指標に賭けるのではない
- 相場のストーリー(筋書き)を考えて、ある意味、**長い目で相場とつきあう**べきか
- 単に指標狙いでは、あまりにもリスクー

相場のストーリー①

- その時点で注目される相場のテーマを選択する
- 相場がどう展開して、どう収まるかという一連のストーリーを考える
- 微調整は、常に必要→構成要素が常に変化

相場のストーリー②

- 相場の流れを、数値あるいは罫線として見るだけではなく、実際にストーリー性を持って見ることで、**興味が増す**ことは、大変大事
- ストーリー性があるからこそ、**推理が進む**とも言える

決して大袈裟な話ではない

- 短期のトレードでも、相場のストーリー(筋書き)をイメージすることは大事
- イメージと現実の違いを認識し、**イメージを調整**することを繰り返す
- それをやることによって、マーケットのポジションがわかってくる

注意点

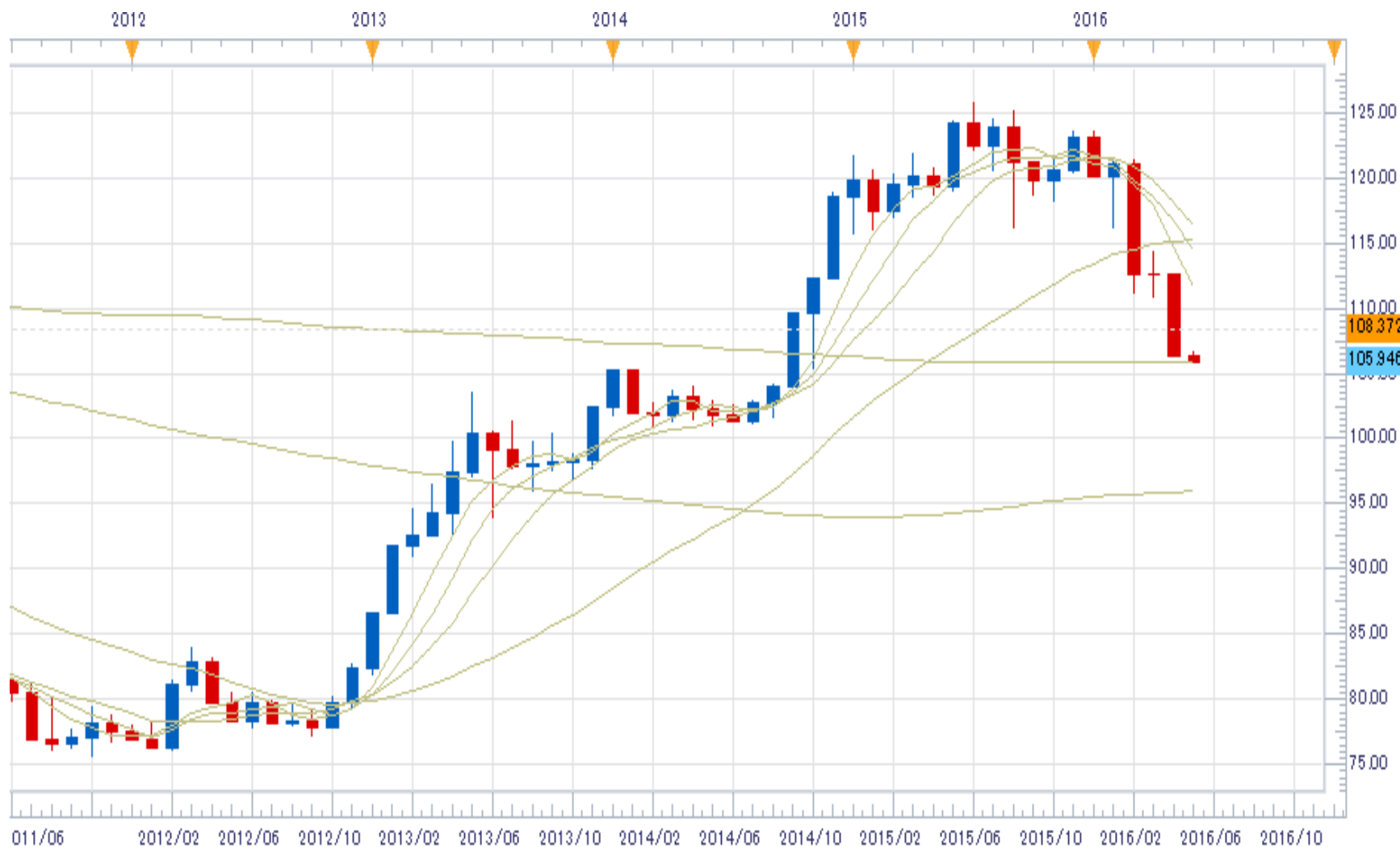
- **トレンド相場**は、実際に**恒常的な資金のフロー**（資金の流れ）がないとできない



実際のフローが伴っているかを確認

- 予想外の指標発表内容などによる精神論では一方向には進み続けることは困難

ケーススタディー(ドル/円、2011年以降)



ドル/円の展開①

- 2011年3月11日 東日本大震災
- 福島第1原子力発電所で大事故
- 国内のすべての原発稼働停止
- ◎→液化天然ガスの大量輸入 貿易赤字
- ◎→大量の輸入のドル買い発生
- ドル急騰 3年で50円弱
- この時点で、大勢は、ドル高は続くと見た
- もちろん、アベノミクスに対する外人買いも

ドル/円の展開②

- 2014年7月から原油急落
- ●→輸入額が急減
- ●→貿易赤字の劇的縮小
- 2014年12.8兆円→2015年2.8兆円
- ドル/円の買い支えがほぼなくなる
- 他の要因もあるが、ドル安は2016年になって
- 本格化

ケーススタディーを終えて

- ここで上げたものは、**過去の事例**で相場のストーリーの組み立てを解説したものにすぎない
- しかし、これからも、想像を豊かにして、**今後の相場のストーリーを推理**していくことは、ご自身が成長していく上で、大変重要

ひとつの分析法では限界

- 各分析法には、それぞれの得手・不得手がある
- それぞれの良い面を合わせて使えば、1+1ではなく、何倍もの効果が出る
- 鄧小平氏
「ねずみを捕る猫なら、黒でも白でもよい」

＜リスク開示＞

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合もあります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師(所属会社を含む。)は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

＜注意喚起＞

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果(想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み)や為替レートの変動等によって注文(ロスカット注文を含む)が約定しない場合等、元本を上回る損失発生可能性があります。特に、マイナー通貨(流動性の低い通貨)の取引をされる場合、元本以上の損失発生の高くなります。加えて、スワップポイント(通貨間の金利差調整額)においては通貨ペアやポジションの状態(売りまたは買い)によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社(相対取引)となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号:ヒロセ通商株式会社

業務内容:第一種金融商品取引業

登録番号:近畿財務局長(金商)第41号

加入協会:金融先物取引業協会会員番号1562